

明治安田生命 2017年度入社式 社長挨拶（要旨）

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、新入職員を迎え、入社式を行ないました。以下のとおり、社長挨拶の要旨をお知らせします。

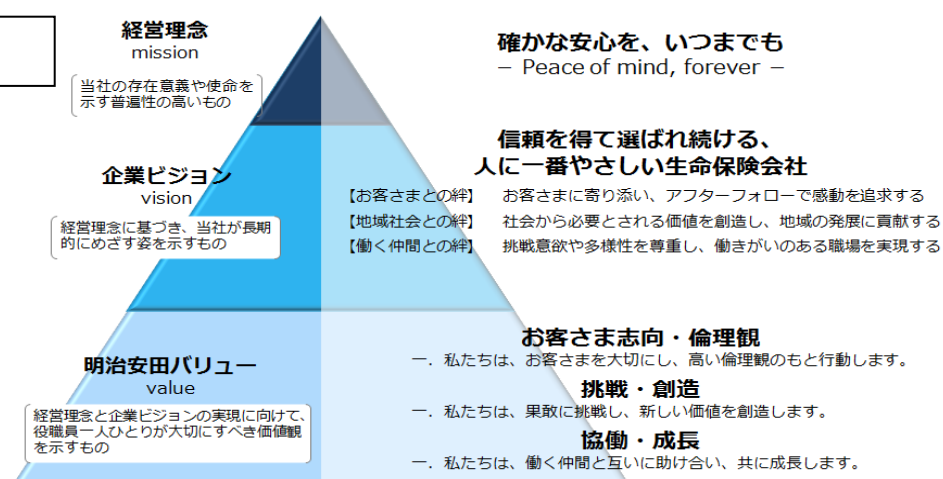
1. 明治安田生命とはどのような会社なのか

- 当社は125年の長年にわたってお客さまの安心を守ってきた歴史と伝統のある生命保険会社であるとともに2004年1月に合併して誕生した「21世紀生まれの若々しい会社」でもある。
- 当社の歴史のなかで、最大の危機と言えるのは、2005年の二度にわたる行政処分であり、全役職員が結集して絶望からの再挑戦を余儀なくされて以降、ガバナンスの強化や支払管理態勢を中心とした基幹機能の強化など、大胆な構造改革を行なうとともに、「個人営業改革」や「事務サービス改革」などの取組みを進めてきた。2016年度には「お客さま満足度調査」結果が過去最高値を記録するなど、これまでの絶え間ない改革は、着実に実を結んでいるものと考えている。

2. 生命保険を取り巻く環境と新たな企業理念「明治安田フィロソフィー」に託す想い

- 生命保険は、大切な人への想いを未来へつなぐための命綱としての特性を持ち、社会保障制度を補完する重要な社会的使命を担っている。国内生命保険マーケットは、本格的な「商品・チャネル大競争時代」に突入しており、私たちは、「新たなマーケット創造・価値創造」に挑んでいく。
- この4月、10年後に向けて「長期的な経営の基本方向」を見直した。「社会保障制度を補完し、自助努力を支える生命保険事業の大手として、業界での確固たる地位を確保」しつつ、「各ステークホルダーに対し、独自の存在感を発揮」することで、「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」をめざしていくというもの。
- このたび制定した新たな企業理念「明治安田フィロソフィー」は、今後の当社の経営に関する基本理念なので、この想いを十分に理解してほしい。

明治安田フィロソフィー



○さらに、この4月から新たな中期経営計画がスタートする。この新しい計画では、お客さま志向とコンプライアンスの徹底を前提に、「成長戦略」「経営基盤戦略」「ブランド戦略」を推進し、成長性・収益性・健全性のバランスを取りつつ、企業価値の安定的かつ着実な向上をめざしていく。新しいプログラムの名称は「MYイノベーション2020（ニーゼロニーゼロ）」。「チーム明治安田」の全員が主体的かつ積極的に、この3ヵ年プログラムに参画することを期待している。

3. みなさんに期待すること

【仕事に対する強い使命感を持つ】

○生命保険は、相互扶助の精神のもと社会保障制度を補完する重要な役割を担っている。何百万という数の保険契約の1件1件が、そのご家族の愛や想いがこもった命綱にほかならない。このような、お客さまお一人おひとりの「想い」を肌で感じ、生命保険業に携わる者としての「強い使命感」を持って、自身の仕事に向き合ってほしい。

【「明治安田フィロソフィー」を自分ごと化し「自律的に挑戦する人財」をめざす】

○「お客さまとの絆を大切にし、『思いやり』の気持ちを高めあう」、「地域社会との絆を大切にし、『地域愛』にあふれる」、「働く仲間との絆を大切にし、『多様な発想』を支え励ましあえる」という企業風土を創造するべく、新しい企業理念「明治安田フィロソフィー」を自分ごと化し、自律的に挑戦する人財をめざしてほしい。

【「先見性」を身に付ける】

○生命保険業界や当社を取り巻く環境は大きく変化を続けており、今後、想定を超える大きな変化が起きることも予想される。激動の時代のなかを「勝ち抜く」ためには、常にアンテナを高く張り、社会情勢や経済環境、お客さまの動向を正確に把握し、遠い将来の変化をも的確に予測しながら、未来への周到的な準備を行なうことが重要。現状に安住する日々を過ごすのではなく、誰よりも前向き、周囲から前のめりと思われるぐらいの姿勢で物事に取り組んでほしい。

以上